

25.ミレニアムブリッジ



2000年のミレニアムプロジェクトのひとつとしてノーマン・フォスター、オヴ・アラップにより設計されたミレニアムブリッジ。特徴はシャープな構造による軽量感と透明感である。

通常上部に伸びるワイヤーを橋の側面に設置することで空が解放されている。タワーブリッジのような装飾、外装材は一切なく、余分なものを削り落としたようなフォルムは、テムズ川に架かるどの橋とも違う美しさを持っている。



当時は歩行の際に発生する激しい横揺れが問題で開通わずか3日後に閉鎖されてしまったらしいが、現在は通路下部に衝撃吸収のダンパーを設置し、安全に通れるようになっている。

テートモダンとセントポール大聖堂、新旧2つのランドマークをつないでいるため、ロンドンの人々にとってとても便利な存在となっているようだ。

